

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年10月25日

上場取引所 大

上場会社名 FCM株式会社

コード番号 5758 URL <http://www.fc-m.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 市居 律雄

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 川森 晋治

四半期報告書提出予定日 平成23年11月8日

配当支払開始予定日

TEL 06-6975-1324

平成23年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	9,866	26.2	66	△65.6	71	△69.3	47	△68.8
23年3月期第2四半期	7,817	24.1	192	△16.6	233	△13.7	151	△13.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	27.66	—
23年3月期第2四半期	88.78	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	9,670		3,497		36.2		2,052.51	
23年3月期	9,409		3,543		37.7		2,079.16	

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 3,497百万円 23年3月期 3,543百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	53.00	63.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,200	16.0	190	△63.4	217	△62.1	141	△60.3	82.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	1,704,267 株	23年3月期	1,704,267 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	229 株	23年3月期	178 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	1,704,080 株	23年3月期2Q	1,704,119 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。
2. 平成24年3月期の業績及び期末配当につきまして、平成23年7月28日に公表しました内容から変更しております。詳細につきましては、平成23年10月25日付けの「平成24年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異ならびに通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(7) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の業績は、売上高9,866百万円（対前年同期比26.2%増）、加工売上高1,578百万円（同6.9%減）、営業利益66百万円（同65.6%減）、経常利益71百万円（同69.3%減）、四半期純利益47百万円（同68.8%減）となりました。セグメント別の業績概要は、以下の通りです。

#### (電子機能材事業)

電子機器や電子部品に使用されている材料・部品の表面処理加工を主とする電子機能材事業では、売上高は2,506百万円（同1.3%増）、加工売上高は1,098百万円（同13.6%減）となりました。スマートフォンやタブレットPC等を牽引役に需要の回復を期待しておりましたが、総じて厳しさを増す事業環境となりました。震災をきっかけにしたリスク分散やサプライチェーンの見直しにより、主要顧客における表面処理加工の内製化、調達先の分散化に加え、円高による海外への移管や国外製品への切り替え、量産を見込んでいた新規開発品の減産などが受注低迷の要因となっています。また、自動車の生産調整を受けて車載部品向けの受注も足踏み状態となり、加工売上高の回復には至りませんでした。競争力強化のための研究開発費の負担もあり、セグメント利益は、8ページ「3. 四半期財務諸表（5）セグメント情報等」に記載のとおりわずかながらマイナスとなりました。

#### (電気機能線材事業)

電線、配線用ケーブル、通信用ケーブルなどの伸線加工を主とする電気機能線材事業では前年同期に比べ銅の価格が高騰した影響で売上高は7,359百万円（同37.8%増）となりました。高圧線用の異型線は計画通りの推移となりましたが、設備用電線など汎用線向けの需要が停滞しており、加工売上高は479百万円（同13.0%増）に止まりました。セグメント利益は、固定費や経費の削減等への取り組みにより、8ページ「3. 四半期財務諸表（5）セグメント情報等」に記載のとおり71百万円となりました。

単位（百万円）

	平成23年3月期 第2四半期				平成24年3月期 第2四半期				増減率	
	売上高	構成比	加工売上高	構成比	売上高	構成比	加工売上高	構成比	売上高	加工売上高
電子機能材事業	2,475	31.7%	1,272	75.0%	2,506	25.4%	1,098	69.6%	1.3%	△13.6%
電気機能線材事業	5,342	68.3%	424	25.0%	7,359	74.6%	479	30.4%	37.8%	13.0%
合計	7,817	100.0%	1,696	100.0%	9,866	100.0%	1,578	100.0%	26.2%	△6.9%

(注) 当社では売上高から主要な材料費等を控除した金額を「加工売上高」と称し、経営指標として用いています。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (貸借対照表の状況)

資産合計は9,670百万円となり、前期末に比べ261百万円増加しました。これは、主に建物付土地の取得による有形固定資産の増加411百万円と現金及び預金の減少152百万円によるものです。

負債合計は6,173百万円となり、前期末に比べ306百万円の増加となりました。これは、主に買掛金の減少169百万円と借入金の増加643百万円によるものです。

純資産合計は3,497百万円となり、前期末に比べ45百万円減少しました。これは、前期の期末配当と当第2四半期純利益を反映したものです。

#### (キャッシュフローの状況)

営業活動によるキャッシュフローは66百万円の支出となりました。主な増加は税引前四半期純利益71百万円、減価償却費220百万円、売上債権の減少74百万円であり、主な減少は仕入債務の減少169百万円、法人税等の支払額137百万円であります。

投資活動によるキャッシュフローは、有形固定資産の取得などにより626百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュフローは、短期借入金の純増加500百万円、長期借入れによる収入300百万円、長期借入金の返済による支出156百万円、配当金の支払額90百万円などにより540百万円の収入となりました。

以上の結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物の残高は前期末に比べ152百万円減少し、165百万円となりました。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

欧州の財政危機の深刻化により欧米はじめ主要国の景気が停滞しているだけでなく、中国やインドなど新興国の成長も鈍化しています。日本においても円高の進展やデフレが継続するなど、厳しい事業環境が続く見通しであります。このような中、当社においては営業の強化、販売の拡大、経費の削減など利益の確保に向けあらためて各種の施策を実行してまいります。業績への効果が出るまでには時間を要することから今期の業績予想を修正するこ

といたします。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいて判断した見通しであり、実際の業績については様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### （1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	317,224	165,081
受取手形及び売掛金	4,680,530	4,605,989
仕掛品	172,663	217,360
原材料及び貯蔵品	255,329	259,343
繰延税金資産	27,256	13,155
その他	17,867	61,976
貸倒引当金	△9,286	△9,075
流動資産合計	5,461,584	5,313,830
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	824,990	792,955
機械及び装置（純額）	909,747	818,598
土地	1,791,233	2,067,915
建設仮勘定	29,224	306,201
その他（純額）	150,332	131,022
有形固定資産合計	3,705,528	4,116,693
無形固定資産	38,171	35,648
投資その他の資産		
投資有価証券	21,499	19,801
繰延税金資産	164,569	167,067
その他	38,966	38,048
貸倒引当金	△21,105	△20,462
投資その他の資産合計	203,930	204,454
固定資産合計	3,947,629	4,356,796
資産合計	9,409,214	9,670,627

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,728,901	2,559,191
短期借入金	—	500,000
1年内返済予定の長期借入金	199,960	259,936
未払法人税等	143,198	15,480
その他	324,231	281,356
流動負債合計	3,396,291	3,615,963
固定負債		
長期借入金	2,070,910	2,154,296
長期未払金	16,232	12,174
退職給付引当金	258,182	275,829
役員退職慰労引当金	97,430	95,835
その他	27,098	18,968
固定負債合計	2,469,853	2,557,104
負債合計	5,866,145	6,173,068
純資産の部		
株主資本		
資本金	687,749	687,749
資本剰余金	826,871	826,871
利益剰余金	2,030,633	1,987,459
自己株式	△521	△630
株主資本合計	3,544,732	3,501,449
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,663	△3,890
評価・換算差額等合計	△1,663	△3,890
純資産合計	3,543,068	3,497,558
負債純資産合計	9,409,214	9,670,627

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	7,817,546	9,866,406
売上原価	6,945,737	9,131,066
売上総利益	871,809	735,339
販売費及び一般管理費	679,263	669,073
営業利益	192,545	66,265
営業外収益		
受取利息	15	9
受取配当金	574	303
助成金収入	49,701	12,253
スクラップ売却益	994	341
その他	1,288	3,626
営業外収益合計	52,574	16,533
営業外費用		
支払利息	11,511	9,726
その他	439	1,423
営業外費用合計	11,950	11,149
経常利益	233,169	71,650
特別利益		
固定資産売却益	730	—
受取保険金	—	6,500
特別利益合計	730	6,500
特別損失		
固定資産売却損	—	679
固定資産除却損	4,100	6,013
特別損失合計	4,100	6,693
税引前四半期純利益	229,799	71,457
法人税、住民税及び事業税	80,957	11,226
法人税等調整額	△2,449	13,087
法人税等合計	78,507	24,314
四半期純利益	151,292	47,143



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	229,799	71,457
減価償却費	256,973	220,578
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,455	△1,595
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	18,115	17,647
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	27,990	△853
受取利息及び受取配当金	△590	△312
支払利息	11,511	9,726
有形固定資産売却損益 (△は益)	△730	679
固定資産除却損	4,100	6,013
売上債権の増減額 (△は増加)	4,490	74,540
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,198	△55,583
仕入債務の増減額 (△は減少)	45,067	△169,710
その他	△65,140	△100,019
小計	531,843	72,568
利息及び配当金の受取額	590	312
利息の支払額	△11,361	△9,648
法人税等の支払額	△210,007	△137,455
その他	—	8,099
営業活動によるキャッシュ・フロー	311,064	△66,123
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△624	△611
有形固定資産の取得による支出	△167,942	△625,370
有形固定資産の売却による収入	787	73
その他	420	△777
投資活動によるキャッシュ・フロー	△167,358	△626,685
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50,000	500,000
長期借入れによる収入	110,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△133,150	△156,638
長期未払金の返済による支出	△4,058	△4,058
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△8,129	△8,129
自己株式の取得による支出	△151	△109
配当金の支払額	△105,670	△90,398
財務活動によるキャッシュ・フロー	△191,160	540,666
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△47,453	△152,142
現金及び現金同等物の期首残高	242,665	317,224
現金及び現金同等物の四半期末残高	195,212	165,081

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	電子機能材事業 (千円)	電気機能線材事業 (千円)	合計 (千円)
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	2,475,432	5,342,114	7,817,546
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,475,432	5,342,114	7,817,546
セグメント利益	235,796	△2,626	233,169

(注) 1. 各事業は、内部管理上採用している区分によっております。  
2. セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。  
3. セグメント利益には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。  
なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	電子機能材事業 (千円)	電気機能線材事業 (千円)	合計 (千円)
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	2,506,495	7,359,910	9,866,406
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,506,495	7,359,910	9,866,406
セグメント利益	△177	71,828	71,650

(注) 1. セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。  
2. セグメント利益には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。  
なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象  
該当事項はありません。